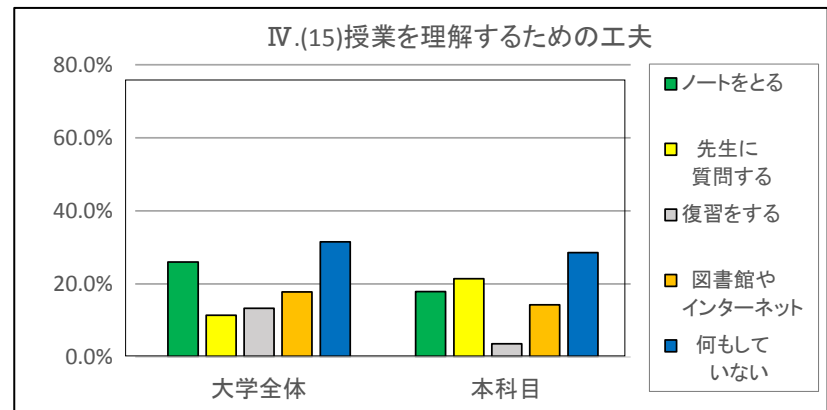


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	17.9%	21.4%	3.6%	14.3%	28.6%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の 受講姿勢	I.(1)	3.57	3.45
	I.(2)	3.57	3.56
	I.(3)	3.18	3.07
講義内容・ 方法	II.(4)	2.96	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.39	3.33
	II.(8)	3.50	3.42
	II.(9)	3.50	3.30
	II.(10)	3.14	3.23
	II.(11)	3.29	3.21
	II.(12)	3.43	3.48
	II.(13)	3.46	3.45
満足度	II.(14)	3.50	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の 受講姿勢 I.(1)~(3)	3.44	3.36
講義内容・ 方法 II.(4)~(13)	3.33	3.30
総合的 満足度 III.(14)	3.50	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	14110
科目名	家庭科指導法
教員名	西江 なお子

#### ①授業計画の達成度について

学習指導要領家庭科編の目標、及び衣食住の学習内容や指導上の留意点について、グループワークや家庭学習などを適宜取り入れながら、学修を進めた。また、学生の理解度を毎時のリフレクションシートによって確認し、計画に則りながらも進度に無理がないよう配慮した。

#### ②授業の進め方について

学生の指導案作成及び模擬授業の実施にあたって、常に家庭科の目標を意識させ、授業を進めた。模擬授業では、題材に応じて、体験活動やグループ活動を適宜盛り込んだ実践力育成を目指す授業づくりを意識させた。その際、適切な教材・教具の提供及び、発問や板書計画等、事前事後にきめ細かい指導を心掛けた。

#### ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

指導案作成や調査活動など、授業時間外における課題も適宜課したが、負担なく取り組めたことがアンケート結果から明らかとなった。今後は、授業での学びを定着させる課題や、事前調査等、学生の実態に応じて適宜取り入れ、家庭科指導法における学びをさら深めていけるよう努力していきたい。